

講義の記録

ねらい 地域の文化は、ジェンダーのあり方に大きな影響を与えている。イスラム世界を対象に採りあげながら、宗教をはじめとする文化とジェンダーの関係を、文化の地域的歴史的変容を含めて考察する。

第1回 [1. 地域と文化の捉え方]

- 1) イスラム世界の女性イメージ
- 2) 二分法的地理観
- 3) オリエンタリズム
- 4) オリエンタリズムを越えて

【レポート1】 初回講義の感想

第2回 [2. イスラム世界の広がり]

1. アラブとイスラム
2. イスラム世界の広がり
3. 女性の位置づけ

補 西洋人のみた日本の男女

ルイス・フロイス Luis Frois (1532-97) イエズス会宣教師『ヨーロッパ文化と日本文化』(岩波文庫)、ポルトガル人のみた中国女性 ガスパール・ダ・クルス Gaspar da Cruz (1570年没)『中国誌』(1570年刊、講談社学術文庫所収)

第3回 [3. 家族と系譜意識]

1. 部族と親族
2. 父系血縁集団

第4回 [4. 婚姻と相続]

I. 婚姻契約

1. 婚姻の成立 2. 婚資 3. 結婚式 4. 扶養請求権その他の妻の権利 5. 夫の権利

II. 婚姻の解消(離婚、死別)

1. 一方的離婚 2. イーラー離婚 3. 身請離婚 4. 仲裁による離婚 5. 後発的無効原因の発生 6. 待婚期間

III. 親子関係

IV. ジェンダー研究の視点から

第5回 [5. 相続と経済]

婚姻 補 ブハーリー『ハディース』「婚姻の書」(牧野信也訳、中公文庫)

1. イスラム法上の相続
2. 女性の経済的位置

【レポート2】 ムスリム女性の位置について、評価を述べよ。

第6回 [婚姻と相続: ムスリム女性の位置をめぐって]

11. レポートをめぐっての討議
12. サウジアラビアのパラドクス・パラダイス

竹下節子『不思議の国のサウジアラビア:パラドクス・パラダイス』2001

第7回 [6 ホモセクシャル]

1-はじめに

2-同性愛のひろがり

3-役割 1. 若者 2?奴隷軍人の社会

4. イスラームとホモセクシャル 1-ホモセクシャルの禁止 2-天国の小姓、少年の賛美 3-預言者のハディース 4-神への絶対愛

5. 諷刺と賛美の詩 軍人支配に対する抵抗 賛美:放蕩と貞節

まとめ ホモセクシャルの両義性・境界性

第8回 [7 ヴェールとその意味]

1. 男性性の創出

2. ヴェール 2.1 イスラム以前からの習慣 2.2 見分けるためのヴェール／保護としてのヴェール 2.3 美しさを覆うヴェール

3. ハレム(空間の隔離)

4. ヴェールの廃止運動

第9回 [8 ヴェールの社会的コンテクスト]

1. 20世紀エジプトのフェミニズム運動

2. 現代のヴェール

第10回 [特別講義 現代カイロの女性たち:ムスリム女性って?] 嶺崎寛子(人間文化研究科 比較社会文化学専攻)

第12回 [9 ヨーロッパのムスリム]

1. 西欧におけるイスラム社会

2. ドイツ 拒絶と疎外

3. フランス 世俗主義という同化

4. オランダ 多文化主義の限界

5. 二重の差別;スカーフの象徴するもの

第13回 [10 第三世界とフェミニズム]

1. 「西洋」フェミニズム

2. 女子割礼／女性性器切除 FGM

3. FGM 廃絶運動とそれへの批判

4. 女子割礼／当事者の意味づけ

第14回 学期末レポートの課題 中間報告

特別企画 アラブ諸国女性訪問団との意見交換会(2003年2月3日)
